



The Loch Ness Eel?

科学者がDNA調査 ネッシーの正体は巨大ウナギ!?



首長竜の生き残りであると信じられてきた未確認生物「ネッシー」

これだけは覚えておきたい!!

captivate [kæptə'veɪt]	~を魅了する、~の心を奪う
hoax [həʊks]	でっち上げ、作り話
biodiversity [baɪəʊdəvə'sɪtɪ]	生物多様性
confirm (that) [kən'fɜ:m]	~だという確証を得る、~ということ立証する
reptile [rɛptail]	爬虫(はちゅう)類の動物

聴くこと、声に出すことが成長への近道!

🎧 編集長おすすめトレーニング

Practice 1 英文を見ずに、CNNの生英語(6)を聴いてみよう。

Check!

Practice 2 英文を見ながら音声を聴いてみよう。
必要ならゆっくりスピード(ポーズなし(7)/ポーズ入り(8))も活用してみてください。

Practice 3 日本語訳を参考に内容を理解し、音声を繰り返し聴いて耳を慣らそう。
さらに、音声をまねながら音読すると、吸収力がグンと上がります。

プラスアルファ 余力のある方は、別冊付録の問題集にチャレンジしてみてください。

The Loch Ness Eel?

A mystery that has captivated the world for the better part of a century: Scotland's Loch Ness Monster. There he is, or there she is. This famous photo from 1934 was a hoax, but many people believe there actually is a monster in the lake. Well, now, scientists say Nessie may be a giant **eel**. Researchers took 250 DNA **samples** from the lake to study its biodiversity. They confirmed there are no **reptiles** living there.

▶▶75 words (September 7, 2019)

科学者がDNA調査 ネッシーの正体は巨大ウナギ!?

1世紀近くにわたって世界を魅了してきたミステリーと言えば、スコットランドのネス湖の怪獣（ネッシー）だ。（写真には）彼、あるいは彼女が見える。1934年に発表されたこの有名な写真はでっち上げだったが、今でも多くの人がネス湖には本当に怪獣がいると信じている。さて、このたび、科学者たちはネッシーは巨大なウナギかもしれないと発表した。研究チームはネス湖の生物多様性について調べるため、湖から250個のDNAサンプルを採取した。（その結果）彼らは、ネス湖に爬虫類は生息していないという確証を得た。（訳 石黒円理）

リスニングのポイント

本当はカナ表記では正確な発音を表せないのですが、音の大体のイメージをつかんでいただくために、あえてカナ表記を用います。「聞こえ方」のひとつの目安にしてください。

[i] の音は、すぐ後ろに母音が続かない場合、日本語の「オ」や「ウ」のように聞こえる。

4行目の **eel** ▶▶ [イーヨ]

5行目の **samples** ▶▶ [サーンポーズ]

最終行の **reptiles** ▶▶ [レプタイオズ]

カナ表記の中の太字は、強く発音される部分を表します。また、括弧に入っている部分は、普通、日本人の耳には聞こえないか、実際に発音されていない音を表します。

[i] の音は、すぐ後ろに母音が続かない場合、すなわち、eelのように、[i] の音で語が終わっている場合か、samples や reptiles のように、[i] の音のすぐ後ろに別の子音（これらの例では [z] の音）が続く場合、日本語の「オ」や「ウ」のように聞こえます（アメリカ英語では「オ」に近く、イギリス英語では「ウ」に近く聞こえる傾向があります）。eelのように、[イー] のように聞こえる長母音の後では、母音と [i] の音の間にヤ行の子音（発音記号は [j]）が割り込んだような響き

になり、しばしば [ɔɪ] に近く聞こえます。また、cool や school のように、[ウー] のように聞こえる長母音の後では、しばしば [ウォ] に近く聞こえますので、cool が [クーウオ] のように、school が [スクーウオ] のように聞こえます。このように、eel, cool, school は、本来は1音節の語ですが、実際には、しばしば2音節で発音されます。

解説 南條健助（桃山学院大学国際教養学部准教授）